

(7) 近 畿



近畿地域では、景気は緩やかに持ち直している。

- ・ 鉱工業生産は緩やかに持ち直している。
- ・ 個人消費は持ち直している。
- ・ 雇用情勢は厳しい状況にあるものの、改善の動きがみられる。

(注) 下線を付した箇所は、前回からの変更のあった箇所を表す (は上方に変更、 は下方に変更)

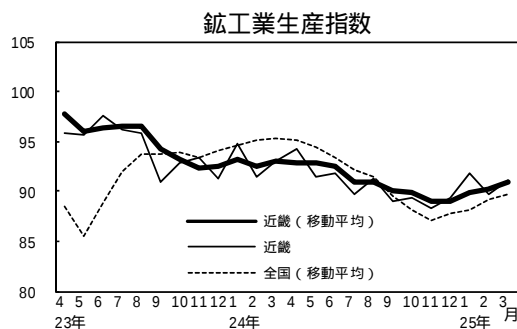
前回調査からの主要変更点

	前回 (平成 25 年 2 月)	今回 (平成 25 年 5 月)	
景況判断	下げ止まりつつある	緩やかに持ち直し	↑
鉱工業生産	下げ止まりの兆し	緩やかに持ち直し	↑
個人消費	底堅く推移	持ち直し	↑
住宅建設	増加	おおむね横ばい	↓
雇用情勢	緩やかな持ち直しに足踏み	改善の動き	↑

1 . 生産及び企業動向

(1) 鉱工業生産は緩やかに持ち直している。

1 ～ 3 月期には、一般機械は長期生産物であるガスタービンでまとまった出荷があったことに加え、半導体製造装置やコンベヤで海外向けが好調であったこと等から増加した。化学はプラスチック等で増加した。食料品・たばこは水産製品等で増加した。電気機械はセパレート形エアコンで在庫減に伴う生産積み増しが行われたことに加え、空気清浄機付きや省エネ型の高機能付きのものへの買換え需要がみられたこと、また、太陽電池モジュールで国内向け住宅用途、産業用途の需要が好調であったこと等から増加した。鉄鋼は建設用や自動車用鋼材で動きがみられたこと等から増加した。



域内主要業種の動向(季節調整値、前期(月)比) (%)

	付加価値 ウェイト	生産				
		10～12 月期	1～3 月期	1月	2月	3月
一般機械	17.0	▲6.8	4.8	12.9	▲13.8	▲5.0
化学	14.5	▲0.5	3.3	3.1	1.4	▲1.4
食料品・たばこ	9.1	2.5	1.8	3.9	▲0.8	0.2
電気機械	8.5	▲3.0	5.2	3.5	▲2.2	6.4
鉄鋼	7.5	▲6.1	10.4	7.3	5.1	▲0.4
鉱工業	100.0	▲1.1	2.1	2.7	▲2.3	1.6

(備考) 1 . 地域における付加価値ウェイトの高い 15 業種。

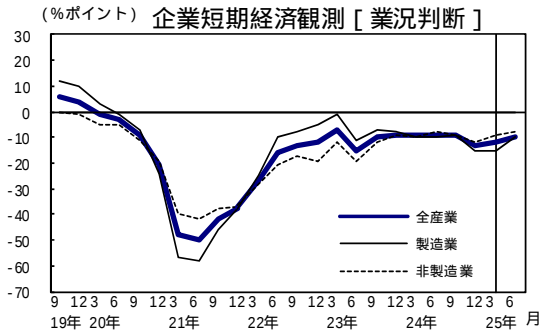
2 . 1 ～ 3 月期、3 月は速報値。

(備考) 1 . 17 年 = 100、季節調整値。近畿の最新月は速報値。

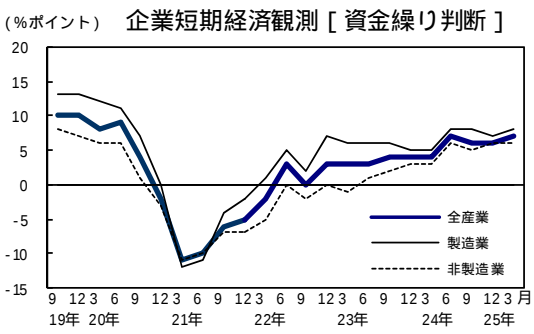
2 . 全国及び近畿の太線は後方 3 か月移動平均。

(2) 企業動向の業況判断は「悪い」超幅が、資金繰り判断は「楽である」超幅がそれぞれ横ばいとなっている。

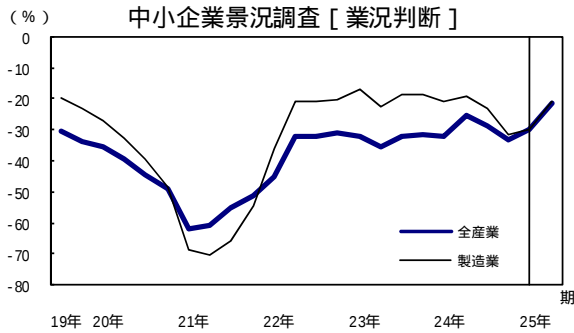
企業短期経済観測調査及び中小企業景況調査



(備考)「良い」-「悪い」回答者数構成比。25年6月は予測。
21年12月は新・旧基準を併記。



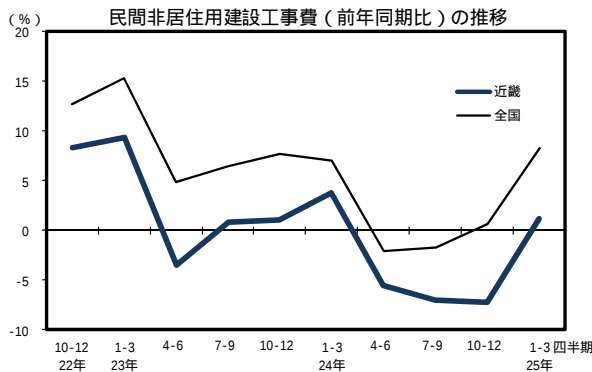
(備考)「楽である」-「苦しい」回答者数構成比。
21年12月は新・旧基準を併記。



(備考)「好転」-「悪化」回答者数構成比。25年 期は見通し。

景気ウォッチャー調査(4月)[企業動向関連(現状)]
「駅周辺の商業施設オープンに伴い、各入居テナントの利用が多くみられ、受注量などの増加が感じられる(コピーサービス業)」などの回答がみられた。

(3) 設備投資の民間非居住用建設工事は増加している。



企業短期経済観測調査 [設備投資 (3 月調査)]

	(前年度比、 %)	
	24年度実績見込み	25年度値
全産業	5.7(▲3.1)	▲1.4
製造業	2.1(▲6.4)	▲0.6
非製造業	8.3(▲0.8)	▲1.9

(備考)()は前回(12月)調査比修正率。

(7) 近畿

2. 需要の動向

(1) 個人消費は持ち直している。

地域別消費総合指数（RDEI（消費））

1月は前月比0.2%減、2月は同0.6%増、3月は同0.3%増となった。

大型小売店販売額

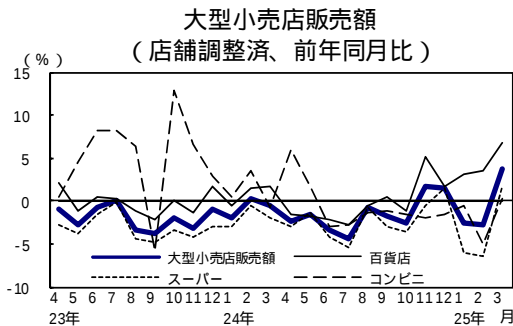
百貨店は、1月は、一部店舗の増床・リニューアル効果や気温低下により防寒用品が好調であったこと等から前年を上回った。2月は、うるう年の翌年で営業日数が減少したほか、気温低下で春物需要が伸び悩んだものの、一部店舗の増床・リニューアル効果等から前年を上回った。3月は、一部店舗の増床・リニューアル効果に加え、気温上昇に伴い春物衣料が伸び、高額品の販売も好調であったこと等から前年を上回った。

スーパーは、営業日数の減少や、低気温により衣料品が低調だったこと等から前年を下回った。

景気ウォッチャー調査（4月）[家計動向関連（現状）]

近畿地域の家計動向関連DIは、59.6となり前月より3.0ポイント低下した。

「今月の客単価は9,150円と、3か月前の10,282円から下がっている（競輪場）」など、「悪くなっている」とする回答が増加した。

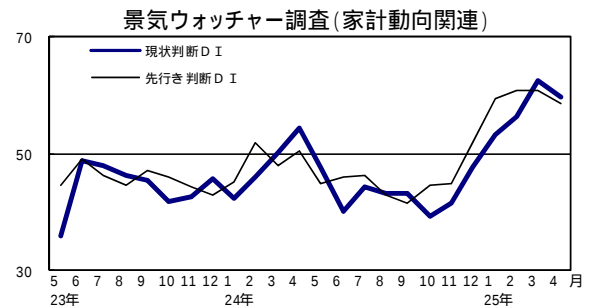
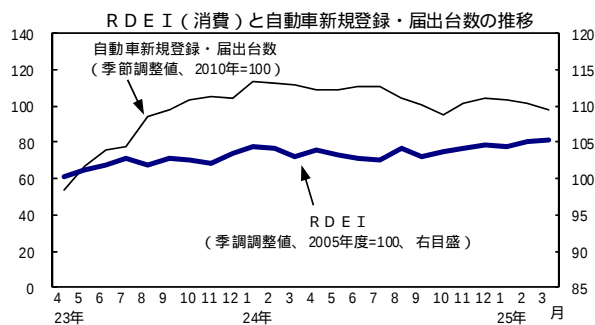


	25年1-3月	25年1月	2月	3月
RDEI（消費*1）	0.7	▲0.2	0.6	0.3
大型小売店(*2)	▲0.5	▲2.5	▲2.8	3.8
百貨店(*2)	4.4	3.1	3.5	6.8
スーパー(*2)	▲3.7	▲6.1	▲6.4	1.8
コンビニ(*2)	▲1.7	▲0.6	▲5.0	0.2
乗用車(*3)	▲10.6	▲6.4	▲9.2	▲14.0
(季節調整値)(*3)	0.4	▲1.5	▲1.1	▲3.7

(備考) 1. 季節調整済前期(月)比(%)

2. 店舗調整済、前年同期(月)比(%)

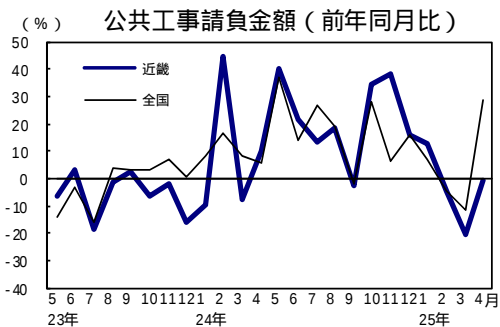
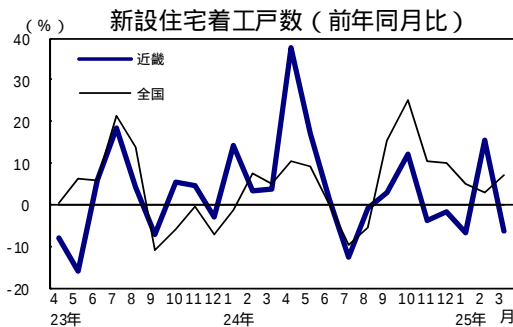
3. 乗用車は、新規登録・届出台数(上段は前年同期(月)比(%))



(2) 住宅建設はおおむね横ばいとなっている。

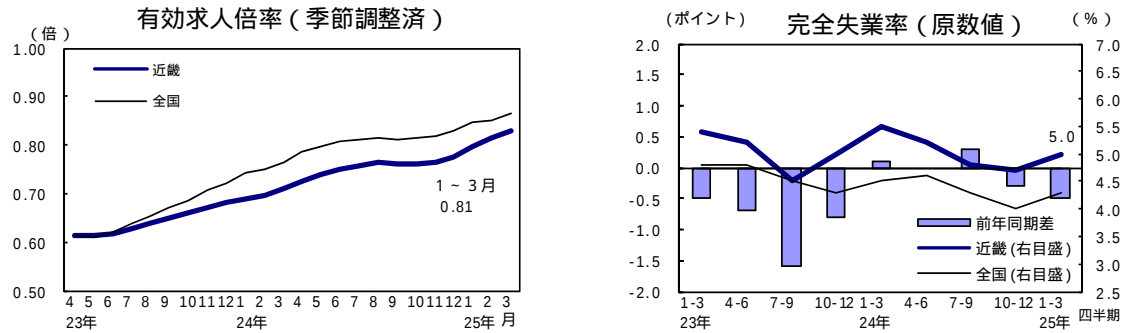
持家、貸家が前年を上回ったものの、分譲が前年を下回ったことから、全体ではおおむね横ばいとなっている。

(3) 公共投資は24年度累計でみると前年度を上回っている。



3. 雇用情勢等

- (1) 雇用情勢は厳しい状況にあるものの、改善の動きがみられる。
有効求人倍率及び完全失業率
有効求人倍率は上昇している。完全失業率は前年同期を下回っている。

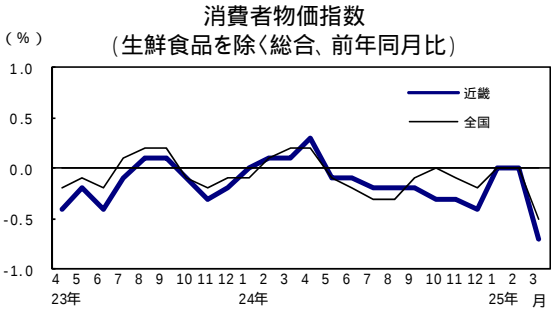


景気ウォッチャー調査（4月）[雇用関連（現状）]
「新規求人数の動きについては、医療・福祉、建設業、宿泊・飲食サービス業からの求人は増加しているが、製造業からの求人は減少している（職業安定所）」などの回答がみられた。

- (2) 企業倒産は、件数、負債総額ともに減少している。
- (3) 消費者物価指数は前年比の下落幅が拡大している。

企業倒産

	(件、億円、%)				
	24年4-6月	7-9月	10-12月	25年1-3月	25年4月
倒産件数	799	728	760	679	235
(前年比)	▲11.4	▲13.2	▲11.4	▲13.8	▲5.2
負債総額	1,565	4,668	1,148	706	330
(前年比)	52.4	316.5	▲13.7	▲30.7	▲17.5



- 景気ウォッチャー調査（4月）[合計（特徴的な判断理由）]
- <現状>
- ・先月に続き、注文は順調に入っているなど、ここへきて売上の前年比がようやく良くなっている（化学工業）
- <先行き>
- ・住宅市場が活性化すると関連業界まで消費拡大が見込めるほか、円安で輸出企業が好調を維持する予想のなか、設備リニューアルに伴う受注拡大も見込める（電気機械器具製造業）

